

意見2

第42回郡山市子ども・子育て会議における保育所等の待機児童の状況への意見

No.	意見内容	回答
1	待機児童を2017年から2021年までの4年間でゼロとした事は評価できる。今後の「年度を通した国基準待機児童ゼロ」や「継続入所申込者ゼロ」は、入所希望者の個々の事情によるので難しいことが予想されるが、期待したいと思う。	ご意見ありがとうございます。
2	グラフについて、なぜこのような推移になるのか、主な理由を記入して頂くとありがたい。	継続入所希望児童数につきましては、転所希望者及び認定こども園1号入所者の2号切替希望者を含んでおりますが、年度当初にほとんどの施設が定員を超えて受け入れているため、年度途中の空きはあまりない状況であり、年度途中の新規申込みは月平均でおよそ100件ありますが、増加の大部分は年度途中での出生児及び育児休業明けの0歳児、1歳児の新規申込者の累積によるものです。 なお、例年と同程度の増加傾向となっていることから、新型コロナウイルス感染症の影響が継続入所希望児童の数に影響を与えていることは、現時点では特にはないと考えております。
3	継続入所希望者が180人と増加しているが、その理由は何か。コロナ禍で施設側が受け入れ困難な状況なども考えられるか？保護者の希望とのマッチングがうまくいかないのか？	
4	施設数と定員の増加により、待機児童が減少しているのは、素晴らしいと思う。反面、施設側からの意見として、保育者確保が難しくなり、年度当初に定員を確保できないという施設も見られることから、施設側の負担が増大している現状が見て取れる。閉園となっては、元も子もないので、なんらかの対応が必要ではないか。	現在、郡山市子ども・子育て会議の委員の皆様の御意見を伺いながら、（仮称）保育・幼児教育ビジョンを策定中ですが、今後、将来の保育・幼児教育需要を見据え、方策について検討してまいります。